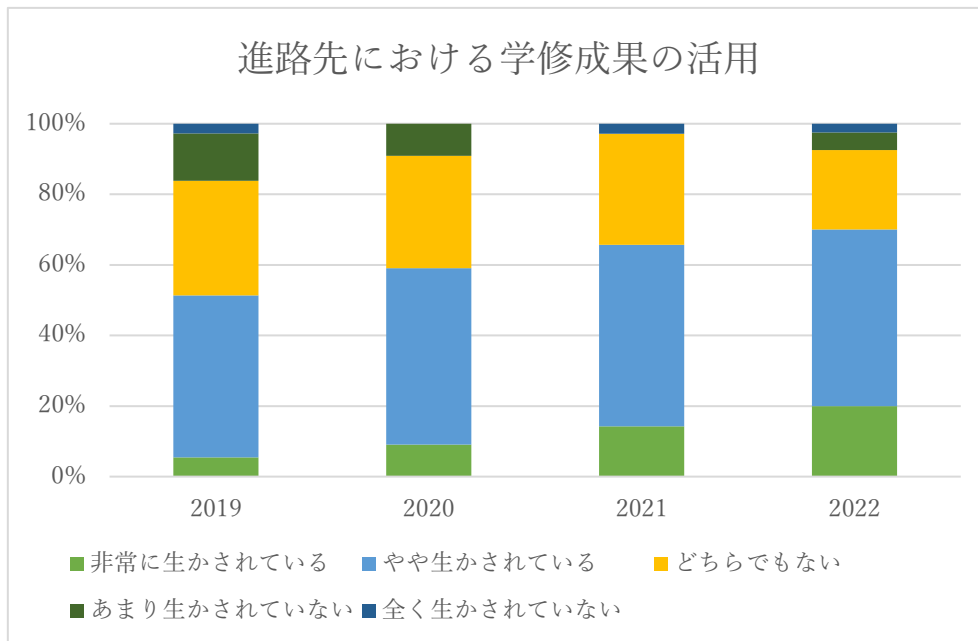


令和4年度卒業生調査結果概要

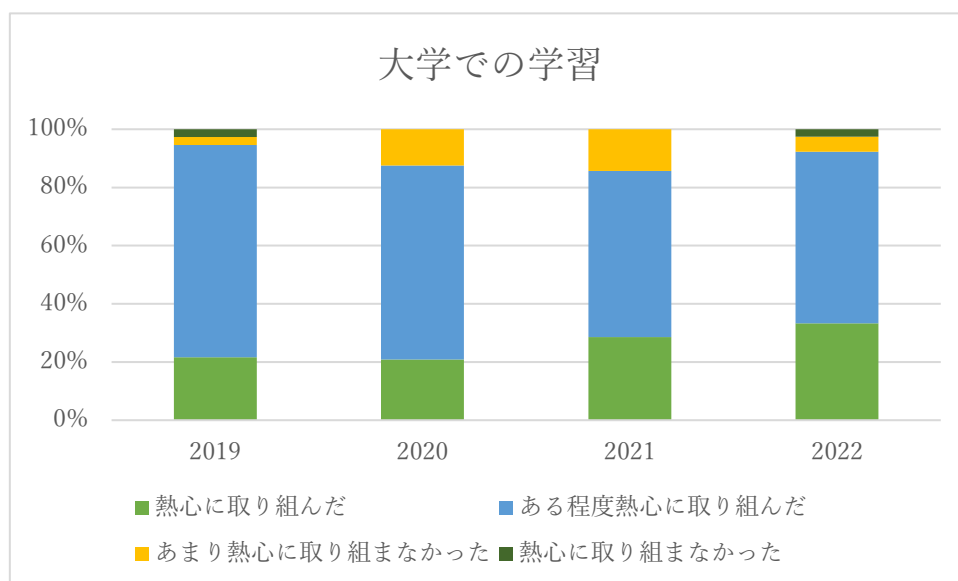
公益学部では、卒業後3年目を迎える卒業生を対象にアンケート調査を実施し、進路先において学修成果がどのように生かされているか等について、過年度との比較を行っている。

令和4年度(令和4年8月実施)では、176名に調査票を送付し、41名から提出があった。以下、重要な項目について分析結果を記す。

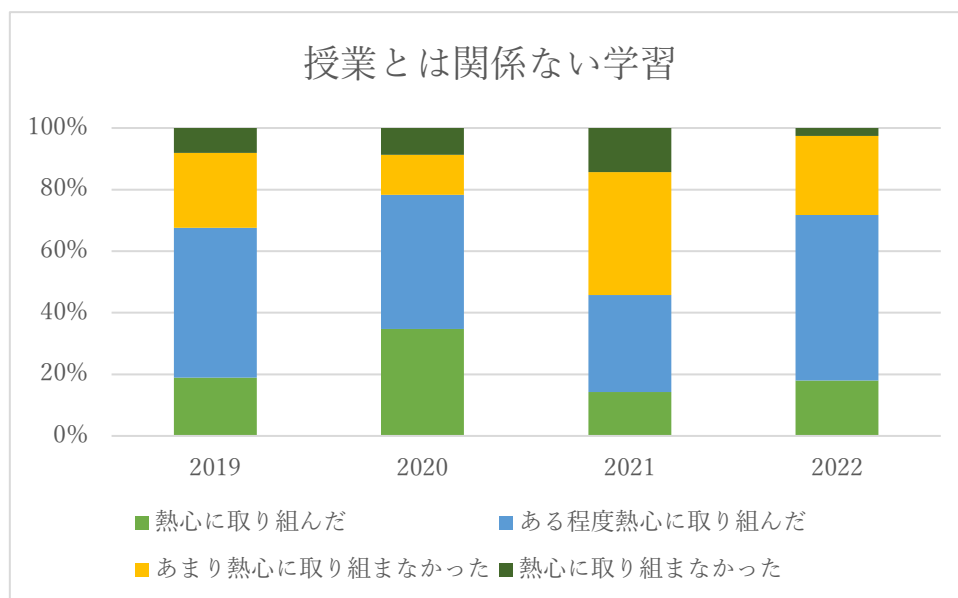
【マーク式回答】



「非常に生かされている」「やや生かされている」の合計が3年連続で増え、今回は70.0%となった。自由記述でも、本学での学びが特にコミュニケーション力において役立っているとの回答が多い。本学のカリキュラムの成果であり、評価できる結果である。



「熱心に取り組んだ」が33.3%と3分の1に達し、さらに「ある程度熱心に取り組んだ」と併せると92.3%と、極めて高い数値となった。学生が本学の学びに期待しており、かつ満足していることの現れであると評価できる。



「熱心に取り組んだ」17.9%、「ある程度熱心に取り組んだ」53.8%で、併せて 71.7%とこちらも高い数値となった。特に「地域活動」の数値が高かった。

【記述式回答】

Q.具体的にどのような学習がどのような場面で生かされていますか。

A1. 実際に地域へ足を運んで学ぶ機会が多かったため、そういった機会が仕事においても、お客さまの現状を理解して、寄り添う姿勢につながっているのだと感じております。

A2. 授業でのグループワークやゼミでの地域でのフィールドワークなどの活動が、今の仕事において、周りを見て行動する、コミュニケーションをとる、協力して活動することに生かされていると思う。以前は苦手としていたのだが、大学での取り組みにより身についたと感じている。

A3. ディスカッション形式の授業などで、コミュニケーション能力が向上し、上司や先輩、同僚と仕事の会話がスムーズにできるようになり良かったです。

A4. グループワークで、他のコースや学年など、様々な人と話し合ったり意見交換したりして、色々な価値観の人がいると実感した。それで今、仕事で嫌なことがあったり、納得しがたいと思ったりすることがあっても、「人それぞれ価値観は違う」ということを前提に、割り切って仕事ができているように思う。

A5. キャリア教育は、現在の仕事と将来の仕事に対する考え方を養うことに役立っている。

A6. 教職課程において、実践的指導演習や学習指導案の作成に取り組んだことが、実際の授業作成及び校内研究授業等で生かされている。

A7. 社会福祉士養成課程の授業での学びが、福祉の現場で働くうえでの考え方や、価値観、セルフケアを行ううえで生かされている。

(以上、実際の回答から7つを選んだ。)

個々の科目の内容というよりも、本学が重視する「アクティブラーニング」の取り組みが、社会に出てから役に立ったという回答が多かった。公益学部では、ディプロマポリシーにおいて、「幅広い知識と専門知識とともに、地域の人々と連携して、地域を牽引していく実践力を磨くため、カリキュラムを通し、以下の4つの力を身に付ける。」として、「コミュニケーション力と発信力」「国際感覚」「創造力と企画力」「リーダーシップ」の4つを掲げているが、特に「コミュニケーション力と発信力」について、卒業後も成長を実感できているという意見が複数あったことは、高く評価できる。また、教職課程や社会福祉士養成課程も卒業後の職業において生かされているとの声が寄せられた。